

国国情第 221 号  
平成 29 年 3 月 31 日

新宿ターミナル協議会 事務局  
東京都 都市整備局 都市基盤部  
交通政策担当部長 殿

国土交通省 国土政策局  
国土情報課長



### 高精度測位社会プロジェクトにおける協力依頼について

平素より「高精度測位社会プロジェクト」（以下、「本プロジェクト」という。）へのご理解、ご協力を頂き、厚く御礼申し上げます。

皆様のご協力のもと、「屋内外シームレス測位サービス実証実験」を推進させて頂いております。国土交通省では、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催を見据え、平成29年度以降も、さらなるサービスの利便性向上を図るため、今年度までに整備した実証実験環境を可能な限り継続維持し、国土交通省が実施する実証実験・広報活動及び民間事業者が提供するサービス等において最大限活用することにより、普及展開を推進したいと考えております。

つきましては、下記の通り、本プロジェクトにて整備した実証実験環境について、平成29年度以降においても利活用させていただきたく、お願い申し上げます。

### 記

#### 1. 依頼事項

##### (1) 本プロジェクトにおいて作成した屋内電子地図について

借用した原典情報（フロアマップ・案内板の地図等）をもとに作成した電子地図についてのうち、基盤となる屋内地図（白地図、一般人の通行が制限されない公共的な通路における歩行空間ネットワークデータ、トイレ・エレベータ等公共設備 POI）については、G 空間情報センター（一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会（代表理事：関本義秀）が運用）において公開すること、又、今後の情報更新については、G 空間情報センター内に平成29年度中に設置予定である「推進体制（仮称）」又は国土交通省の委託業務において行うこととしたく、下記について了承頂きたい。

- ・国土交通省が実施する今後の実証実験・広報活動及び民間事業者が提供するサービス等において利活用すること
- ・国土交通省が当該情報を更新（改変）すること
- ・国土交通省が G 空間情報センターを介して第三者再配布すること  
（基盤となる屋内地図は shp 形式で無償提供、フルスペックのデータは関係者のみ）
- ・推進体制が情報収集等を行うことへの協力

連絡窓口については、国土交通省国土政策局国土情報課又は G 空間情報センターとします。

##### (2) 本プロジェクトにおいて設置した測位機器について

設置した BLE ビーコン（ボタン電池式ビーコン、太陽光発電ビーコン）について撤去せず、

（裏面に続く）

国土交通省が実施する今後の実証実験・広報活動及び民間事業者が提供するサービス等において継続活用するとともに、「パブリックタグ」へ継続登録することとしたい。

保守・連絡窓口については、国土交通省国土政策局国土情報課及び国土交通省国土政策局国土情報課より委託を受けた業者となります。

(3) 範囲・内容について

対象とする範囲・内容については、別紙のとおりとします。

2. 期間

平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日とします。

ただし、双方いずれからの申し出がないときは、同一条件でさらに 1 年間継続し、以後東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催年度である平成 33 年 3 月 31 日まで延長することとします。

以上